



にじは、どうしてできるの

雨のつぶに、太陽の光があたるとできる

にじは、太陽と反対側で雨が降ったり、雨上がりのときに、地表から空にかけてできます。にじは、太陽の光が雨のつぶにあたり、くっ折（曲がる）したり、反射したりしてできます。太陽の光は、白っぽい色をしています。赤、だいだい、黄、緑、青、あい、むらさきの7色の光が混ざりあってできています。それは、プリズムというガラスでできている三角形の棒に太陽の光をあてると、太陽の光が7色に分かれることからわかります。

雨のつぶが、プリズムと同じはたらきをする

はっきり見えるにじは、雨のつぶにあたった太陽の光が、雨のつぶの中で2回のくっ折と1回の反射によって、7色に分かれてできたものです。

光は、それぞれの色によって、くっ折する角度がちがいます。それで、雨のつぶに光があたると、いろいろな色に分かれて見えます。（監修・村山 貢司）

